

This guide for university study abroad students, advisors, and staff is intended to help you determine **which of your courses is equivalent** to each of the levels (1–8) of the KCP Intensive Japanese Language course.

Total immersion

KCP International teaches Japanese in the *Direct Method*—**learning entirely in Japanese** without a vehicular language such as English, at every level. Given the intense focus; many class hours (200); and suggested study time (3 to 6 hrs/day), one semester of a KCP Japanese language course is roughly equivalent to one year of U.S. university instruction. The pace is rigorous.

Besides the intensive classroom time, **Japanese is spoken on campus**. Staff will switch to English if the student doesn't understand, but they guide you to interact totally in Japanese. In Tokyo daily life, you speak Japanese for almost all of your waking hours. As-needed practice and extracurricular clubs create an atmosphere of all Japanese, all the time. Once you commit to this, your progress in language skill is truly immense.

Placement

On arrival at KCP, students take a placement exam to determine their appropriate class level. Of course, students are individuals: it is entirely possible that two students from the same U.S. university who've taken the same courses may end up in different KCP class levels. We defer to university staff on how to represent this in academic credit and course equivalencies.

Recommended Equivalencies

We recommend these equivalencies:

KCP Course Level	JLPT Score*	ACTFL-OPI*	Home University Course Level
Japanese Level 1	N5	Novice–Intermediate Low	1st or 2nd year Japanese
Japanese Level 2	N4	Intermediate Mid	2nd or 3rd year Japanese
Japanese Level 3	N3	Intermediate High	3rd or 4th year Japanese
Japanese Level 4	N3-N2	Advanced Low	4th or 5th year Japanese
Japanese Level 5	N2	Advanced Mid	5th or 6th year Japanese
Japanese Level 6	N2-N1	Advanced High	6th or 7th year Japanese
Japanese Level 7	N1	Superior	7th or 8th year Japanese
Japanese Level 8	N1	Superior	8th or 9th year Japanese

*Average test scores after completion of each level. Results vary by student.



Japanese Level 1

Introduces basic Japanese grammar and sentence structures. Establishes the foundation for more advanced Japanese. Introduces hiragana, katakana, and about 150 kanji.

- Begin to communicate in daily life situations.
- Learn basic Japanese writing systems and write short paragraphs using kanji learned in class.
- Become accustomed to Japanese sounds, accents, and intonations through listening drills, classroom exercises, and audio and video tapes.

Level 1 (作文)

わたしの友達

わたしは友達がたくさんいます。いろいろな人がいます。10月3日に日本へ来ました。新しい友達に会いました。新しい友達はとても親切で、おもしろい人です。初めて外国の友達がいます。いつもいっしょに昼ごはんを食べます。ときどき一人で食べます。とてもさびしいです。中国の友達がいちばん多いです。韓国とアメリカもいます。どちらも好きです。中国の友達は辛い食べ物が好きです。でもわたしは辛い食べ物が好きじゃありません。わたしの友達はがつきを弾くことができます。わたしは友達の国へ旅行に行きたいです。特にアメリカがいちばん行きたいです。今お金がありませんから、なかなか旅行することができません。ぜひ行きたいです。わたしはとても楽しいと思います。たくさん友達がいますから。マレーシアの友達を思い出して、それから会いたいです。10年後でみんなぜひ会いたいです。父は「友達はいちばん大切です」と言いました。今わかりました。

Level 1 (作文)

わたしの友達

わたしの友達はチューさんです。チューさんは今18歳です。マレーシアから来ました。学校の寮と今の家といつも一緒に住んでいます。毎日一緒に学校へ行ったり、晩ごはんを食べたりします。チューさんは髪が長くて、背が高く、元気な人です。チューさんはバスケットボールをすることができます。いつも土曜日代々木公園へバスケットボールをしに行きます。楽しいです。チューさんは犬が好きです。毎日学校へ来る前に、犬の写真を見ます。「将来大学生になります」と言いました。ですから、チューさんはいつも頑張って勉強します。わたしはチューさんはいい学生だと思います。

Japanese Level 2

Introduces a more difficult level of basic Japanese grammar and sentence structures.

- Develop more complex communication skills and communicate in daily life situations.
- Begin to read and comprehend short stories.
- Write short paragraphs and letters using kanji learned in class.
- Carry on short conversations through repeated practice and role-playing.
- Through pronunciation correction, begin to speak Japanese with more certainty.
- Learn to recognize your own mistakes.

Level 2 (作文)

日本へ来てからのわたし

今年の7月に、日本語が話せるように日本へ来ました。はじめに他の国で生活したので、いろいろな習慣が変わりました。

以前の町でいつもバスに乗るようにしていました。日本へ来たあとで、地下鉄に乗るようになりました。地下鉄を降りたときに、コンビニで弁当を買ったときに「すみません。」と「ありがとう。」を言うようになりました。中国で母に料理に慣れたので、甘い物が食べられると思いました。今毎日ケーキを食べるようになりました。中国で右側に通行するので、日本で左側に歩かなければなりません。中国人は電車で話すことが好きです。日本の電車で静かにしたほうがいいと思います。

今週国へ帰る予定がありますから、国で日本語で「すみません。」と言うかもしれません。半年間の日本の生活はとても楽しかったです。たくさん友達も作りました。

Level 2 (作文)

初めて日本へ来たとき

わたしは2014年の8月に初めて日本へ来ました。あのとき、わたしは中国の大学と日本の大学の交流生でした。日本語があまりわかりませんでした。いっしょに来た先生は日本語が上手です。わたしに中国語で日本語を説明してくれました。

初めて日本へ来た生活は楽しかったです。日本に住んだ2週間に日本の大学の先生はわたしをいろいろなおもしろいところへ連れて行ってくれました。そして、わたしと日本の大学の学生いっしょに日本料理を食べたり、お土産を買ったりしました。国へ帰る前に、日本の友達に電話番号をもらいました。

初めて日本へ来たとき、日本は本当にいい国ですね、みんなやさしくて、町はきれいで、日本の留学生になりたいと思いました。ですから、いまわたしは日本で勉強しています。

Japanese Level 3

Introduces more complex, advanced Japanese grammar and sentence structures.

- Develop advanced conversation skills as your Japanese proficiency grows.
- Be able to read general articles and essays.
- Practice speaking in a variety of social situations.
- Express your ideas and opinions in Japanese and analyze tapes, current news, and academic essays.
- Special emphasis includes writing short essays and journals and delivering effective speeches in Japanese.
- Use frequent pair work and role playing.
- You are drilled on sentence structures, and you get plenty of practice in extended conversations and short speeches.

Level 3 (作文)

今年いちばんの「ありがとう」

もう日本で生活したのも6か月を過ぎました。おもしろかったことも、大変なことも、いろいろあった。その中でいちばん覚えているのは道に迷っているとき、知らない人にやさしく教えてもらったことだ。

日本語も今みたいに話せなかった。困って立っているしかできなかった。日本に住んでいるお姉さんも電話に出なかった。紙には住所が書いていたが、日本語の発音で書いた英語だった。冬のおかげだから、本当に寒くてかぜも強かった。ニューヨークに旅行したときのような寒さだった。

すると、年上のおばさんが話をかけてくれた。紙を見てくれて、近い所まで連れて行ってくれた。わたしの服を見てしかられたが、母みたいに心配してくれた。お姉さんと電話して来るまでいっしょに待ってくれたし、わたしが帰るときもおばさんの顔今でも忘れていない。

いつかぜひ会いたい人だし、心から感謝している人だ。

Japanese Level 4

Introduces less common advanced Japanese grammar and sentence structures. Special emphasis on appropriate Keigo (polite Japanese).

- Begin reading newspapers and academic textbooks.
- Write well-developed essays.
- Converse and create short sentences.
- Read and listen to Japanese essays describing several different aspects of modern Japan.
- Experience steady improvement in your conversation ability through class discussions and speeches.

Level 4 (作文)

一日だけで世界を変えられる

私は生まれて以来、アメリカで色々なことが変わった。例えば経営悪化が進むにつれて、働けない人が増えてきた。特に新卒にとって、就職しにくくなってきた。他の例として、毎年授業料はどんどん増える一方だ。そして、授業料は増えるとともに、大学で勉強できる人が減ってきた。

これらは大きな変化だけど、私は生まれて以降9月11日のテロリストの事件が一番の巨大な変化を引き起こした。今でも初めてニュースを聞いたときのことははっきり思い出せる。学校から家へ帰って、テレビのニュースを見たとき、テロの悲惨さについて考えさせられた。特に子供としてそんなニュースは私を悲しませた。その日以降もっとテロに対しての対策をとってきた。テロと戦うために、毎年多額のドルを寄与していくにつれて、教育などのお金は減ってきた。今でもテロの妖怪と戦うに伴って他の悪化する問題は多くなってきた。

Level 4 オリピックやワールドカップなどの国際大会を開催する意義と問題点

(タイトルなし)

2020年に、日本でオリピックが開かれる。

国家規模の大会を開けば、開催国は国力と文化は示せる。もちろんその国には、そういう大会を開かなくても、外国からの旅行者はたくさんいるかもしれないが、それだけで、国の文化や経済力を示すことはできまい。それは国民は全員旅行するわけではないからだ。国家規模の大会を通して、世界の各国に国が紹介できる。また、オリピックのような大会を開けば、国民にスポーツに対する関心を持たせられる。

一方、大会の前に会場を建てるが大会が終わった後、会場をそのままにして、使わなくなってしまうことは多いだろう。また、会場を建てるのにお金がかかり、国民の税金負担が大きくなってしまふ。また、国によって時差が違い、夜に応援する声が騒音になってしまうおそれがある。

以上のことから考えて、残っていた会場をムダにせず、次に大会があれば、あそこを使えばよい。また、応援する人は、ある特定の場所で応援すれば、騒音は少なくなるだろう。

Japanese Level 5

Introduces more sophisticated Japanese.

- Express ideas successfully through your speeches and essays.
- Interpret and logically express what you read in daily Japanese newspapers.
- Write content-oriented compositions and practice conversations through pair work and role playing.
- Japanese used in class is increasingly more advanced and difficult.

Level 5 (クリスマスのような西欧からの行事が日本で定着する一方で、生活習慣の変化や、伝統行事の喪失などが感じられる。このような変化についてどう思うか。)

(タイトルなし)

先日の夜アルバイトの帰りの道で多くの家がクリスマスのイルミネーションを飾ってキラキラしているという光景を見た。

日本でクリスマスは極めて人気がある。特に若者にとって、正月より、クリスマスはもっと楽しみにしているかもしれない。実は中国でも同じだ。みんなクリスマスにプレゼントを交換したり、一緒に遊んだり、恋人同士はデートしたりする。クリスマスが流行ってきたとともに、一部の人は心配が出た。このままにすれば国の伝統の物が失うおそれがある。しかし、私はそう思わない。私は世界に存在している物は全て合理的だと思う。クリスマスという祝日の故事背景が美しく、みんなに好まれているだろう。現代、国と国の間に経済上の交流だけではなく、文化上の交流も日々強まっている。欧米の国とアジアの国、お互いに相手の良い所を学ぶのはいい現象だと思う。確かにそれに伴って、みんなは自分の国の伝統はそんなに重視しなくなるかもしれない。それに、私たちは新しい物の到来を阻むべきではない。

Japanese Level 6

For advanced students who want to acquire fluent communication abilities and recognize / use appropriate Japanese depending on social situations. After completing this level, and outside test preparation, many students are able to pass level one (most difficult) of the Japanese Language Proficiency Test, Nihongo Nouryoku Shiken, attaining a command of Japanese sufficient to gain admission to a Japanese college or university as a regular full-time student.

- Classroom activities are supplemented with newspaper readings, television, textbook readings, and discussion of current issues in Japan.
- Your Japanese language proficiency is enhanced through speeches, discussions, debates, role playing, task listening, and mock interviews.

Level 6 (作文)

目黒川の光

2014年12月1日、今日はバイトが休みだったので友達に会って「目黒川」に行った。今年の12月25日、クリスマスまで「目黒川」ではイルミネーションをやっている。イルミネーションのテーマは「青の洞窟」。たしかに、ついた瞬間、青い光に圧倒された。とてもきれいだった。

イルミネーションを見たのも嬉しかったが、「目黒川」は私の特別な思い出の場所だ。去年、日本へ来たばかりのとき、ネットで見つけて一人で桜祭りを見に来たことがある。日本語をまだ読めなかった時期で「目黒川」まで行くのにずいぶん時間がかかったが、満開の桜を見て日本に来たと、なにかわからない気持ちで胸がいっぱいになったのが今でも忘れられない。

青い光を見ながら、友達とコーヒーをテイクアウトして飲んだ。一人だった去年と違って、今年は友達と一緒に。上手ではないが、少しでも日本語ができるようになった。来年の「目黒川」ではどんな光を誰と、自分はどんなすがたで見ることができるかな。

Japanese Level 7

Level 7 (手記)

「知識は力なり。」ただし、「知識を増す者は悲哀を増す。」前者の諺なら英語にもあるので何度も聞いてきたが、高校時代からずっと知識欲旺盛な私はこの間初めて後者を聞いて、深く感動した。「まさにその通りだ」と思って、すっかりひとり物思いにふけた。特に歴史が好きな私は今その言葉を考えると真っ先に思い浮かぶのは戦史だ。昔は遠くの戦場で職業軍人同士の戦争しかなかったが、現代史を考えるとやはり総力戦の悲惨さしか思いつかない。

「歴史は繰り返す。」この諺の重要性を多くの人に伝えるために、私は高校生のときからずっと歴史学者を志してきた。歴史上の人物や日付を生徒に覚えさせるより、歴史が繰り返されないように戦争の悲惨さをきちんと伝えられる教師になろうと決心している。そのために悲哀を増すことになっても、私は知識を増やし続ける。

というわけで、決意を新たにできる一日だった。

Japanese Level 8

Advanced

人間で在る選択

ニューヨーク・タイムズ紙に載った飢えた子とハゲワシの写真は我々に人間たる者の倫理と人間だからこそその使命感・欲望について色々考えさせるものがある。では、子供の命の際に写真を撮ったカメラマンの行為は許されるのであろうか。

私はその時、彼が最高ではなくても最善の選択をするべきだったと思う。一人の人間として危険にさらされた子供をまず救うべきだったと思う。

シャッターを切ったとき、彼の中ではこの悲惨な現実を多くの人に知らせようとした使命感だけではなく、よい作品を撮りたいという欲望もあったと思う。勿論、人間として倫理の問題とも闘った上での判断だったろうが、それでも許されない行為だと思う。

極端に言えば、一人を犠牲にしても多くの人を救う方がいいという全体主義ではないかと思う。十人、百人の命が重いと同様に、一人の命も貴重な重みがある。一人の命を大事にできないのに、多くの命のためとは言えないのではないか。それが人間としての倫理である。人の命の価値を判断する権利は誰にもない。いくら偉大なる使命感を持っていても人間としての倫理意識が欠けたらその意味を失うのである。

倫理と使命感、あるいは倫理と欲望の問題は難しいことであるが、倫理を忘れない選択をすることが人間の在り方だと思う。

Advanced

仕事は仕事

アフリカのスーダンである少女が倒れている。今にも死にそう。少女の後で少女が死ぬことを待っているハゲワシ。それを見つけたカメラマンがいる。カメラマンは少女を助けてあげなく、ただ写真を撮っただけだ。カメラマンの行為は許されるのか。私は許されると思う。

なぞなら、カメラマンは自分の仕事に忠実にしたからだ。当時、カメラマンはカメラマンとしてその場所にいたから、カメラマンがしなければならぬことをしたに相違ない。

カメラマンの最優先の行動は写真を撮ることだ。カメラマンたちの中では被写体には何もしないということが不文律だ。勝手に手を出したら、後の結果が変わるからだ。

しかし、人の命より大切なものはないから、カメラマンは許されないという人もいる。けれども、世の中では人の命を奪っても非難されない人も多い。例えば軍人。戦争で軍人は人を殺しているのに非難されていないが、カメラマンはただ見ているだけで非難されるだろうか。

確かに、そのとき、カメラマンは少女を助けられるはずだったが、いつまでも助けてあげられない。ただそのときに助けられても、翌日死んでしまうかもしれない。それが戦争後のアフリカだった。

一瞬の感情で現実を世界に知らせるカメラマンの義務をしなかったら、カメラマンとして失格だ。目の前の状況でよく我慢して世界に知らせたカメラマンは、たとえ少女を助けてあげなかったとしても許されることではないか。